

みなみ

R7 竜王南小学校便り
No. 6
2025.9.19 発行
甲斐市立竜王南小学校



学校教育目標
「楽しい学校（楽校）の創造」
— やる気 こん気 げん気 —



児童会で決定された運動会のテーマは、「結むすび～かがやけ！竜南！～」です。赤組白組が運動会の取組を通じて、協力し合いながら仲間との絆を深め結束していきます。9月16日（火）から運動会特別日課が始まりました。



表現の練習をする2年生

特別日課初日の1校時には、色別集会が行われ、それぞれの組のスローガンが発表されました。赤組は、「絶対勝利～仲間とともに～」、白組は「力戦奮闘～仲間を信じて頂点へ～」です。その後、応援の練習を行い士気を高めました。

9月も中旬となり、暑さの出口が感じられるようになってきましたが、甲府の気温は連



赤組と白組になったコキア

日30℃を超えており、熱中症の心配が絶えません。児童の安全を第一に考えながら練習を進めていくようにします。10月4日（土）の運動会当日は、練習の成果を発揮して、児童の頑張る姿がご覧いただけると思います。

正門付近の花壇には、コキアが植えられています。園芸委員会の児童が毎日丹念に水やりをしてくれています。そのコキアに赤組と白組の飾りを付けてくれて、運動会を盛り上げるよう演出してくれました。

お知らせ

○正門前の道路における送迎のための通行への安全配慮に感謝いたします。これからも児童が安心して登下校できますようにご協力をお願いします。

秋の全国交通安全運動が9月21日（日）～30日（火）の予定で行われます。本校では、運動会の取組終了後の10月14日（火）～20日（月）の期間において、街頭指導を行います。児童には、交通事故の危険性、命の大切さ、登校班での学年に応じた態度について指導をします。ご家庭からも、登下校を含め、放課後等の安全な過ごし方について確認などをお願いします。

○10月1日 学校創立記念日となりますが、創立50周年記念式典は、11月11日（火）となります。

山県大貳 生誕300年

9月23日（火・祝）、正午～午後5時の予定で、第40回大貳学問祭が行われます。山県大貳は、本校の校歌にもうたわれる甲斐市の生んだ偉人です。今年は、生誕300年ということで、甲斐市広報9月号でも、特集が組まれていました。山県大貳の遺徳に触れる機会になってほしいと思います。

山県大貳書道展も開催され、竜王庁舎新館1階 エントランスホールなどにおいて、9月23日まで入賞・入選作品が展示されています。

読書について

全国学力・学習状況調査の児童質問に、「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか」という質問事項があります。最近では、電子書籍もあるので、一概に何冊というのは難しいかもしれません。

夏休み中、図書室の開館が6日間ありましたが、利用者が多くありませんでした。エアコンが新しくなり、涼しい中で過ごすことができ、快適な環境を提供できていたのですが、猛暑の中での学校の行き帰りは、足が遠のいた理由の1つかもしれません。

例年2学期は、先生からのおすすめの本の紹介があります。それぞれの教師が思い思いの本を取り上げます。こういったことをきっかけに興味を持って図書室を利用し、読書に勤んでほしいと思います。

子供主体の授業を目指して

本校教職員が授業について研究している校内研究は、主題を「自ら考え、学ぶ子供の育成」とし、サブテーマを「子供が主体的に学ぶ授業づくり」に設定して行われています。

子供主体という言葉から、およそのイメージは持つことができますが、目指すところとすると、「子供一人ひとりの興味や関心を踏まえ、個性に応じた学びを実現するための授業」ということになります。

子供主体の授業を目指す一つの状況として、子供たちが教師の指示・発言がないと、学びを止めてしまう実態が見られたことにあります。目まぐるしく変化していくこれからの社会において、受け身では乗り切ることが厳しくなっていくことは想像に難くありません。したがって、授業においても、先生から教えてもらうものから自分から学んでいくものという意識の転換が必要になってきます。このことは、教師の意識の転換も同様に必要です。「教える」という役割に加えて、子供たちの学びを支援する「伴走者」という役割も必要になってきます。授業において、子供が学習課題を選択・決定する、子供が学び方を選択・決定する、子供が自らの学習を振り返るという場面を設定することが考えられます。今まで教師がこれをするよ、こういうふうに進めるよと決めていたことを、児童が自分で選びながら学習して、自分の勉強になったかどうか考えていくことが求められます。

授業は、様々な教科があり、また、同一教科であっても単元によって展開が異なりますので、一律にこうすれば子供主体の授業というような簡単なものではありません。学校としても、日々研究を続け、授業改善を進めていきたいと思っています。

6年 福祉講話

9月12日（金）、6年生が

（株）セレクト 理学療法士 大内俊志さんを招いて、「介護とりハビリ」について福祉講話を実施しました。大内さんは、大切なことは思いやりの心であると冒頭に話され、専門的な立場からいろいろと教えてくださり、児童も真剣に聞いていました。



（文責 本田 司）